



目標—指導—評価の一体化のための学習評

中学校技術・家庭科（家庭分野）のポイント



中学校技術・家庭科（家庭分野）における単元の学習評価について、題材の目標及び「内容のまとまりごとの評価規準」の考え方を踏まえた評価規準の作成から評価の総括までの一連の流れを具体的な事例をもとに説明します。

I 題材の目標、評価規準を作成する

【Step1】 題材を検討、構成します。

学習指導要領に基づき、解説に示された配慮事項及び各内容の特質を踏まえるとともに、生徒の発達段階等に応じて、効果的な学習が展開できるよう、内容「A家族・家庭生活」から「C消費生活・環境」までの各内容項目や指導事項の相互の関係を図ることが大切です。そのうえで、指導する内容に関係する学校、地域の実態、生徒の興味・関心や学習経験を踏まえ、より身近な題材を設定するよう配慮します。

○内容のまとまり

○設定した題材

第2学年「B衣食住の生活」
(4)「衣服の選択と手入れ」
(5)「生活を豊かにするための布を用いた製作」



健康・快適で持続可能な衣生活

【Step2】 題材の目標を設定します。

題材の目標は、学習指導要領に示された分野の目標並びに題材で指導する項目及び指導事項を踏まえて設定します。

なお、以下に示した目標は、「B衣食住の生活」の(4)「衣服の選択と手入れ」のAの(ア)、(イ)及びイ、(5)「生活を豊かにするための布を用いた製作」のA及びイの指導事項の関連を図って設定しています。

【題材 「健康・快適で持続可能な衣生活（第2学年）」の目標の例】

- (1) 衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択、衣服の計画的な活用の必要性、日常着の手入れ及び製作するものに適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それに係る技能を身に付ける。
- (2) 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

【Step3】 学習指導要領の記載事項を踏まえて、「内容のまとまりごとの評価規準」を設定し、それを基に題材の評価規準を作成します。

・学習指導要領 技術・家庭（家庭分野）の目標及び内容を確認

B 衣食住の生活

- (4) 衣服の選択と手入れ
- ア (ア) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。
(イ) 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。
イ 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫すること。
- (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作
- ア 製作するものに適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取扱い、製作が適切にできること。
イ 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。

新学習指導要領では、「内容のまとまり」ごとに育成を目指す資質・能力が示されています。そのため、「内容」の文末を変換して「内容のまとまりごとの評価規準」を作成することができます。

○内容のまとまりごとの評価規準

※内容のまとまりごとの評価規準(例)は「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料の巻末資料に示されています。

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B(4)ア(ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 <p>B(4)ア(イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 	<p>B(4)イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい衣生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
<p>B(5)ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取扱い、製作が適切にできる。 	<p>B(5)イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

○題材の評価規準

題材の評価規準は、「内容のまとまりごとの評価規準」から題材において指導する項目及び指導事項に係る部分を抜き出し、評価の観点ごとに整合・統合、具現化するなどして作成します。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 ・製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、<u>材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方</u>、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

※下線部は「内容のまとまりごとの評価規準(例)」と「題材の評価規準」の記載が異なる部分を示す。

「知識・技能」については、その文末を、「～について理解している」、「～について理解しているとともに、適切にできる」として、作成します。

「思考・判断・表現」の、①家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だし、解決すべき課題を設定する力については、その文末を～について問題を見だし課題を設定している」、②解決の見通しをもって計画を立てる際、生活課題について多角的に捉え、解決方法を検討し、計画、立案する力については、その文末を「～について(実践に向けた計画を)考え、工夫している」、③課題の解決に向けて実践した結果を評価・改善する力については、その文末を「～について、実践を評価したり、改善したりしている」、④計画や実践について評価・改善する際に、考察したことを論理的に表現する力については、その文末を「～についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。」として、評価規準を設定します。

「主体的に学習に取り組む態度」の、①粘り強さについては、その文末を「～について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている」、②自らの学習の調整については、その文末を、「～について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている」として、③実践しようとする態度については、その文末を「～について工夫し、創造し、実践しようとしている」として、評価規準を設定することができます。



Ⅱ 指導と評価の計画を立てる

観点別の学習状況を記録に残す場面等を精選するためには、単元の中で適切に評価を実施できるよう、指導と評価の計画を立てる段階から、評価する場面や方法等を意図的・計画的に考えておくことが重要です。

指導と評価の計画（全14時間）

- {1} 衣服の一生（衣服の選択から廃棄まで）
- {2} 衣服の選択と着用（課題1）
- {3} 衣服を長く大切に（課題2）
- {4} 衣服等を再利用した生活を豊かにする物の製作（課題3）
- {5} 健康・快適で持続可能な衣生活を送るために

- 1時間
- 2時間
- 4時間
- 6時間
- 1時間



	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
衣服の一生	<p>○健康・快適で持続可能な衣生活を送ることに問題を見だし、課題を設定することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校での学習や、今までの経験から、衣服を選ぶ際に困ったことや、失敗したこと等の問題を見だし、課題を設定する。 ・毎日着る制服は、どのように手入れをしているのか、また、どんな手入れの方法があるのかを考える。 ・着なくなった制服の再利用などについて考える。 		<p>題材全体を貫く課題</p> <p>①健康・快適で持続可能な衣生活を送るために、衣服の選択、日常着の手入れ、衣服等の再利用などについて問題を見だし、課題を設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード 	
健康・快適で持続可能な衣生活を送るためには、どのようなことが大切なのだろう				
	<p>○衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択について理解するとともに、衣服の選択について考え、工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりについて考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・冠婚葬祭（日本の伝統的な和服） ・お祭りや花火大会（半被、浴衣） ・消防士（消防服） </div> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択について課題を設定する。 ・様々な行事予定や活動の際、どのように衣服を選ぶのかを考え、話し合う。 ・遊園地に行くときにふさわしい服装について考え発表する（共通課題）。 ・組織表示や取扱い表示等、衣服の様々な表示について調べる。 ・目的、デザイン、サイズ等を考慮しながら、遊園地に行くときにふさわしい衣服を選択し、ペアで発表し、選択を見直す。 	<p>①衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ※ペーパーテスト <p>②衣服の適切な選択について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード 	<p>（課題1）</p> <p>①衣服の選択について問題を見だし、課題を設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード <p>②衣服の選択について考え、工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード <p>③衣服の選択について実践を評価したり、改善したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード 	<p>①衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ（学習の足あと） [例4] ・学習カード ・行動観察
衣服の選択と着用	<p>○衣服の材料や汚れに応じた洗濯について理解し、適切にできるとともに、日常着の洗濯の仕方について考え、工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の日常着の洗濯について課題を設定し、グループで話し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・油汚れ、洗濯による衣服の縮み など </div> <ul style="list-style-type: none"> ・同様の課題を設定したグループで、それぞれ解決方法を調べたり、実験したりする。 ・学んだことを生かして自分の衣服の洗濯の方法を考える。 ・元のグループに戻り、材料や汚れ方に応じた洗濯の仕方について考えを発表し合う。 	<p>・知識・技能の定着のために、できる限り、繰り返し取り組めるよう工夫します。</p> <p>③衣服の材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯の仕方について理解しているとともに適切にできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・相互評価（DVD見本参照） 	<p>（課題2）</p> <p>①材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯の仕方について問題を見だし、課題を設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード <p>②材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯の仕方について考え、工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード [例2] ※ペーパーテスト [例3] <p>③材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード <p>④材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード 	<p>②衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ（学習の足あと） [例4] ・学習カード ・行動観察 <p>③より良い衣生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や、状態に応じた日常着の手入れの仕方について工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ（学習の足あと） [例4]

	6 ・ 7	<p>○衣服の状態に応じた日常着の補修の仕方について理解し、適切にできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだ縫い方を振り返る。 ・まつり縫いとこれまで学習してきた縫い方を比べ、まつり縫いの特徴についてまとめる。 ・まつり縫いによる裾上げ、スナップ付けなどの補修について、その目的と布地に適した方法を考え実習する。 <p>・6時間目を「指導に生かす評価」(「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への手立てを考える評価)とし、7時間目を「記録に残す評価」とします。</p>	<p>④衣服の状態に応じた日常着の補修の仕方について理解しているとともに、適切にできる。</p> <p>指導に生かす評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習布1 ・確認テスト ・行動観察 <p>記録に残す評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習布2 		<p>③より良い衣生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や、状態に応じた日常着の手入れの仕方について工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ(学習の足あと) [例4]
<p>衣服等を再利用した生活を豊かにする物の製作</p>	8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 ・ 13	<p>○衣服の計画的な活動の必要性について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手持ちの衣服を点検依頼し、購入から廃棄までを見通した計画的な活用について話し合う。 <p>・長持ちさせるための手入れ ・衣服の再利用、リサイクル</p> <p>○自分の生活を豊かにするための衣服の再利用について問題を見だし、課題を設定することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服等の再利用の製作計画の条件を確認し、課題を設定する。 <p><条件></p> <ol style="list-style-type: none"> ①小学校やこれまでに学習した技能を生かす。 ②衣服や布でできた物を袋物(バッグ・巾着など)によみがえらせる。 ③計画を含め5時間で製作する。 <p>○衣服等を再利用し、自分の生活を豊かにする物の製作計画について考え、工夫するとともに、製作することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再利用する衣服の素材や特徴を生かして、自分の生活を豊かにする物の製作計画を立てる。 <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイシャツやブラウスの生地を生かしてバッグや巾着を作る。 ・Tシャツの気に入った柄の部分を生かしてバックグの飾りにする。 など <ul style="list-style-type: none"> ・製作計画に沿って製作する。 <p>○衣服等を再利用した製作について振り返り評価したり、改善したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作した作品について、自己評価する。 	<p>⑤衣服の計画的な活動の必要性について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード <p>⑥製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、製作が適切にできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作計画 ・実践記録表[例1] ・再利用作品 <p>⑦用具の安全な取扱いについて理解しているとともに適切にできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動評価 	<p>(課題3)</p> <p>①自分や家族の衣服等の再利用について問題を見だし課題を設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作計画 ・実践記録表 <p>②衣服等の再利用の製作計画について考え、工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作計画 ・実践記録表 <p>※7, 8, 9, 10時間目で適切な評価場面を設定する。</p> <p>③衣服等を再利用した製作について、実践を評価したり、改善したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作計画 ・実践記録表 ・再利用作品 	<p>①衣服等の再利用の製作計画や再作について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ(学習の足あと) [例4] <p>②衣服等の再利用の製作計画や製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ(学習の足あと) [例4] ・製作計画 ・実践記録表
	14	<p>○再利用の作品について発表するとともに、これまでの学習から、健康、快適で持続可能な衣生活を送るために大切なこと(衣服の選択、日常着の手入れ、衣服等の再利用について)をまとめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の作品を見て、よいところを相互評価し、参考になるところをワークシートにまとめる。 		<p>題材全体を貫く課題</p> <p>④健康・快適で持続可能な衣生活を送るための課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード 	<p>③よりよい衣生活の実現に向けて、衣服等の再利用の製作計画や製作について工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ(学習の足あと) [例4]

Ⅲ「どのような姿を見取ることができればいいのか」評価規準を生徒の姿で捉える



知識・技能

この題材では、衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択、衣服の計画的な活用の必要性、日常着の手入れ及び製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱いについて理解しているとともに、それらが適切にできているかなどについて評価します。

例えば、9～13時間目の評価規準⑥の評価については、縫い方の特徴を理解し、適切な箇所を、適切な縫い方で縫っているかを製作計画・実践記録表[例1]の記述内容や再利用作品で評価しています。

ここでは、縫う箇所に応じた縫い方を選び、その理由を記述している場合を「おおむね満足できる」状況(B)と判断しています。なお、まつり縫いに加え、今まで学習してきた他の縫い方についても、まつり縫いと同時に縫い方見本等を活用して評価することが考えられます。

生活を豊かにする物の製作計画・実践記録表[例1]の一部

製作計画・実践記録表		
縫う箇所	縫い方	理由
持ち手の付け位置	返し縫い	丈夫にするため
ポケットの口	まつり縫い	縫い目が目立たないようにしたい

※「おおむね満足できる」状況(B)と判断した生徒の具体的な例

〈知識・技能〉⑥
 ※「十分満足できる」状況(A)と判断した生徒の具体的な例

[ポケットの口のまつり縫いについて]縫い目を目立たないようにした方が、自分の作りたい物のデザインにあってるのでまつり縫いにする。

自分の作りたい物のデザインなどを考えて、縫う箇所に応じた適切な縫い方を選んでいることから(A)と判断しています。

思考・判断・表現

この題材では、衣服の選択から、日常着の手入れ、衣服等の再利用までの一連の学習について、①問題を見いだして課題を設定しているか、②様々な解決方法を検討し、計画、立案しているか、③実践を評価・改善しているか、④考察したことを論理的に表現しているかについて評価します。

4、5時間目の評価規準②については、学習カード[例2]の記述内容から評価します。日常着の洗濯の仕方について、自分の課題に対する適切な解決方法を考え、記述していることから、「おおむね満足できる」状況(B)と判断しました。

学習カード[例2]の一部

その汚れ、あなたならどうする？

汚れの状態	セーターにケチャップがはねた
素材	毛
汚れの種類	油汚れ
洗い方	中性洗剤を使って手洗いをする
洗剤の種類	しみがついたらなるべく早く洗う
注意点	

※「おおむね満足できる」状況(B)と判断した生徒の具体的な例

〈思考・判断・表現〉②
 ※「十分満足できる」状況(A)と判断した生徒の具体的な例

取り扱い表示を確認し、手洗い可能な場合は、ケチャップがついた部分に中性洗剤を付け、つまんでもみ洗いし、その部分を丁寧にすすぐ。

洗い方や洗剤についてだけでなく、注意点やその根拠を具体的に記述していることから(A)と判断しました。

※「努力を要する」状況(C)と判断される生徒に対しては、洗濯する日常着の汚れや組成表示、取り扱い表示、洗剤の種類等を再確認させるなどして、それらに応じた洗濯の仕方について具体的に方法を考えることができるよう個に応じた指導を工夫します。

さらに、評価規準②については、下記のようなペーパーテスト[例3]で評価することが考えられます。例えば、下記の問い1の課題において、洗濯の実習から学んだことを活用して、適切な解決方法を考え、工夫点やその理由を記述している場合を「おおむね満足できる」状況(B)と判断しています。

〈思考・判断・表現〉②
 ※「十分満足できる」状況(A)と判断した生徒の具体的な例

工夫点1とその理由
 ・・・・、素材によっては傷んだりするので、洗濯物を分けて洗剤や洗い方を変えて洗う。また、綿のワイシャツは、しわにならないように、ネットに入れ脱水を短めにするか手洗いのする。

工夫点2とその理由
 ・・・・、他の洗濯物が汚れるから先に手洗いする。綿シャツの首回りの汚れは落ちにくいので、先に直接洗剤等をつけてもみ洗いしておく。

学んだことを生かし、様々な視点から工夫点を考え、その理由を具体的に記述していることから(A)と判断した。

衣服の手入れ(洗濯)におけるペーパーテスト[例3]の一部

問1 次のような場合、あなたはどのような工夫をして洗濯を行いますか。

洗濯かごの中に、母の花柄のエプロン、父の紺のTシャツ、姉の毛のセーター、野球で汚れた弟の靴下、自分の綿のワイシャツ、バスタオル、フェイスタオルが入っています。あなたはどのような工夫をして洗濯をしますか。その理由も書きなさい。

工夫点1とその理由
 ・全部一緒に洗うのではなく、洗濯物を分けて洗剤や洗い方を区別して洗う。一緒に洗うと素材によっては縮んだり、しわになったり、伸びたりするものがあるかもしれない。

工夫点2とその理由
 ・弟の靴下は、汚れがひどく、洗濯機で洗うだけでは汚れが落ちにくいので、手洗いのする。

主体的に学習に取り組む態度



この題材では、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、衣服等の再利用に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付けたり、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、衣服等を再利用した生活を豊かにする物の製作計画を考え、工夫したりする際に、**粘り強く取り組んでいるか**、それらに関する学習の進め方について振り返るなど、**自らの学習を調整しようとしているか**について評価します。さらに、よりよい生活の実現に向けて、持続可能な社会の構築の視点から、環境に配慮した衣生活の大切さに気づき、家庭でも実践しようとしているか、生活を楽しく、豊かにしようとしているかなどについて評価します。

8～14 時間目の評価規準③についてはポートフォリオの記述内容から評価しています。例えば、14 時間目の題材を振り返る場面では、今まで学んだ衣服の選択、日常着の手入れ、衣服等の再利用を生かし、よりよい衣生活の実現に向けて、工夫し実践しようとしている場合や生活を豊かに使用している場合を「おおむね満足できる」状況（B）と判断しています。

ポートフォリオ（学習の足あと）【例4】

学習の足あと			
評価規準	できるよくなるまで取り組んだこと	〇でできるようになったこと △でできなかったこと ★でできなかったことに挑戦してどう思ったか	次に生かしたいこと
衣服の一生			
洗濯と洗濯物の扱い			
衣類の整理			
衣類の再利用			
材料の活用			
手入れ			
生活			
制作			
生活			
制作			

ポートフォリオ（学習の足あと）【例4】の一部（14時間目）

持続可能な衣生活を送るために

これからあなたが大切にしていけることは何ですか。
(衣服の選択、手入れ、再利用それぞれについて記入しよう。)

場に応じた衣服の選択を考えたり、汚れに合った洗濯をしたり、使えそうなものは再利用したりすることが、健康・快適で持続可能な衣生活を送ることにつながると思うので大切にしていきたい。

<主体的に学習に取り組む態度>③

※「十分満足できる」状況（A）と判断した生徒の具体的な例

本当に必要なものは何かを考えて衣服を購入・選択したり、表示を確認し、素材や汚れに応じた手入れをしたりして衣服を長持ちさせたい。自分や家族の衣服などを整理し、再利用を考え、環境への配慮や持続可能な生活につなげていこうと思う。

衣服の購入から廃棄までの衣服の一生を考え、これからの生活に生かすことを具体的に考えていることから（A）と判断した。



IV 観点別学習状況の評価の総括方法に

【本事例における観点別学習状況の評価の結果例】

題材の評価規準	知識・技能							思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度			題材の総括
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	観点ごとの総括	観点ごとの総括	観点ごとの総括	観点ごとの総括				
<ul style="list-style-type: none"> 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 衣服の計画的な活用必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決案を考え、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。							よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。							
学習活動における評価規準	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ B(4) B(4) B(4) B(4) B(4) B(5) B(5) A(ア) A(ア) A(イ) A(イ) A(イ)							題材全体を貫く課題：1次 課題1：2～3次 課題2：4～7次 課題3：8～13次 題材全体を貫く課題：14次				①②③ ①②③			
Zさんの評価	A	A	B	A	A	A	B	題材全体を貫く課題：1次 B 課題1：2～3次 A B B 課題2：4～7次 B A B B 課題3：8～13次 B A A 題材全体を貫く課題：14次				①②③ B B B A B B			B B
評価結果のA、B、Cの数	A：5 B：2 C：0							評価結果のA、B、Cの数 A：5 B：7 C：0				評価結果のA、B、Cの数 A：1 B：5 C：0			
合計	19							29				13			
平均値	2.71							2.42				2.17			

家庭分野における題材ごとの観点別学習状況の評価の評定への総括について、「第1編 総説第2章（5）観点別学習状況の評価に係る記録の総括」に示された二つの方法を以下に例示します。

- ① **評価結果のA、B、Cの数を基に総括する場合**では、評価結果のA、B、Cの数を目安として各観点の評価結果の数が多いものを総括した評価とします。従って、「知識・技能」ではA、「思考・判断・表現」ではB、「主体的に学習に取り組む態度」ではBの評価に総括できます。
 - ② **評価結果のA、B、Cを数値に置き換えて総括する場合**では、評価結果の数値によって表し、合計や平均することで総括します。上記の結果例の場合、A=3、B=2、C=1の数値で各観点の評価を数値化すると、「知識・技能」の平均値は2.71、「思考・判断・表現」の平均値は2.42、「主体的に学習に取り組む態度」の平均値は2.17となります。この場合に総括の結果をBとする判断の基準を「1 ≤ 平均値 ≤ 2.5」とすると、「知識・技能」ではA、「思考・判断・表現」ではB、「主体的に学習に取り組む態度」ではBの評価に総括できます。
- このほかにも、観点別学習状況の評価に係る記録の総括については様々な考え方や方法があるため、各学校において工夫することが望まれます。